

初の「オンラインFD学習会」開催報告

2020年5月9日（土）14時～16時にかけて、本学初のオンラインFD学習会を開催いたしました。「オンライン（遠隔）授業をどのように進めていけばよいか」をテーマとし、5月7日版として配布いたしました「2020年度前期オンライン（遠隔）授業づくりについて ver. 2」の解説と質疑応答、参加者同士のディスカッションを行いました。参加者は常勤・非常勤講師合わせて100名（満員御礼）の方にご参加いただきました。

セミナー内でアンケートを取らせていただいたところ、第1回～第3,4回までの授業については、オンライン授業モデル【No.1】の資料提示・課題型の実施が80%程度となったものの、第4,5回目以降の授業予定についてはこの割合が50%程度に減少し、代わりに【No.6】同時双方向型の割合が15%から50%程度にまで伸びることがわかりました。今後一層、学生と双方向性の高い授業が展開されていくことに期待が膨らみます。

今回の学習会では、特に質疑応答が白熱し、数多くの質問が挙げられました。それに対する回答も含めていくつかをご紹介します。

Q. パワーポイントスライド動画を講師の映像入りで作りたいのですが、パワーポイントのバージョンは2019以前のものです。他にできる方法はありませんか。

A. センター配布資料「ver. 2」の5ページの表中に記載しております、「パソコンで録画する」をご参照ください。Teamsの画面共有機能を用いて作成することが可能です。

Q. 90分ぶんのフル授業動画をつくる必要はありますか。実際の対面授業でも、講義は70分ぐらいで、残りは小テストなどに使っているのですが。

A. 90分ぶんの授業動画は必ずしも作る必要はありません。おっしゃる通り、実際の授業でも教材を配布したり、質疑応答に使ったり、問題を解かせたりということはあると思います。また学生も動画を途中で止めてノートを作成するなどしているため、短めの動画を作ったとしても結果的には90分、あるいはそれ以上授業を受けているような状況もあるようです。

Q. 映像を配信する際に、それを学生が外に出さないか不安です。結局、いろいろな方法を使えば、ダウンロードしたり録画できたりしてしまうので。

A. 映像配信を完全に学生にダウンロードあるいは録画させないようにすることはかなり難しいことです。いかにダウンロードできないように工夫したとしても、ちょっとでも知識があれば無料のソフトをつかってパソコン画面を録画することは造作もないからです。大事なことは、著作権に関すること、情報倫理や、やってはいけないことについて伝えることです。大学としてもポータルサイトを通じて学生に伝えたり、教養入門の科目内で情報倫理について扱うなどの対応をしていますが、個々の先生方の授業の中でも、学生に対して伝えていただきますと、問題発生を可能な限り予防することができるのではないのでしょうか。

Q. 学生に、1分のプレゼンを動画で録画させて課題として提出させることは可能ですか。

A. 可能です。ただし学生が動画を作成した場合、100Mbを超えることもあるので、Kt-noteからの提出よりも、Teamsから提出するように指示の方が無難でしょう。

Q. 同時双方向型の授業をするとき、間で休憩はいれた方が良いですか。

A. 場合によります。同時双方向型でも教員の講義が中心になる場合は、学生の集中時間が90分間も持ちません。従って間で1回5分程度の休憩をとったほうがよいでしょう。一方、学生の小グループ討議などを組み合わせるなど、学生の集中力を切らさない工夫が随所にされているようであれば、休憩がなくても問題ないようです。

Q. 同時双方向型の授業をしているときに、動画を画面共有で見せたのですが、音が聞こえませんでした。どうすればよいでしょうか。

A. 画面共有をする際に、あるボタンを押す必要があります。Zoomの場合は、共有画面の右上にでてくる「コンピューターの音声を共有」にチェックをいれてから、共有を開始してみてください。Teamsの場合は、画面共有のボタンを押す際に、右上にできます「システムオーディオを含めます」にチェックをいれて、画面共有を開始してください。

Q. 同時双方向型の授業を行う場合、学生への連絡はどのようにすればよいでしょうか。

A. KT-note もしくは、Teams から連絡するようにしてください。KT-note の場合は、「授業資料」機能を使うことで、受講生全員に連絡することが可能です。

Q. 自室を見せないようにするための背景はどのようにすればよいでしょうか。

A. Teams の場合、パソコンのアプリをダウンロードし、そのアプリからアクセスする場合に限り、背景を選択することができます。Zoom の場合、高性能のパソコンであればグリーンカーテンがなくとも、Zoom に初期搭載されている背景を用いることができます。もしパソコンのスペックが背景活用に適しておらず、グリーンカーテンもないという場合は、代替策として「scan snap」という無料アプリをダウンロードし、対応することも可能です。しかしこのソフトは不具合が起こることもあるため、積極的にはオススメしません。

Q. Teams と Zoom は併用できますか。

A. Teams で授業の案内を出し、実際の同時双方向型の授業は Zoom で行うということは可能です。しかし Teams で会議を行いつつ、Zoom でもミーティングを行うという同時併用はできません。

Q. Teams の学生のログイン状況はどんな様子ですか。

A. 学科や学年によって状況は異なりますが、全学でみますと5月11日時点で75%程度の学生がログインしています。引き続き、先生方の授業内でも Teams のアプリのダウンロードやログインを推奨いただき、また個々の授業内でも Teams を使っていただくことで今後もログイン数を増やせます。ご協力、何卒よろしくお願いいたします。

Q. オンラインFD学習会で、参加者の1人に「講師用モニター」という方がいましたが、これは何ですか？

A. よく気づいていただきました。実は、講師である西野が、ホスト役としてログインしていたパソコンとは別に、もう1台モニター用のパソコンを用意し、アクセスしていました。このパソコンは受講生の方の画面にどのように映っているか、音声は聞こえているかなどを確認するためのものです。また学生はスマートフォンから参加することもあるため、自分のスマートフォンからもアクセスし、「講師用モニター2（スマホ用）」をつくることもあります。Teams では、試していませんが、Zoom ではこのような講師用モニターを用意しておくことで、学生への指示がよりの確にできるようになります。

<第2回オンラインFD学習会予定>

2020年5月27日（水）16:30~18:00 予定

※詳細は別途メールにてご連絡いたします。

<Teams を用いたオンライン授業づくりのQ&A等
掲示板申込>

<https://forms.gle/8keF4MzS9jWpbw6y7>

<オンライン授業づくりのご相談先>

教育開発支援センター：cesd@tachibana-u.ac.jp